

令和6年度  
東京都立総合芸術高等学校音楽科  
入学者選抜課題曲集

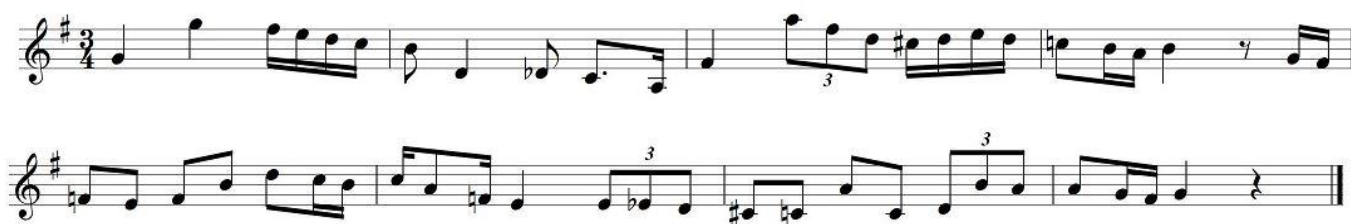
推薦に基づく選抜・学力検査に基づく選抜共通

令和5年10月1日 発表

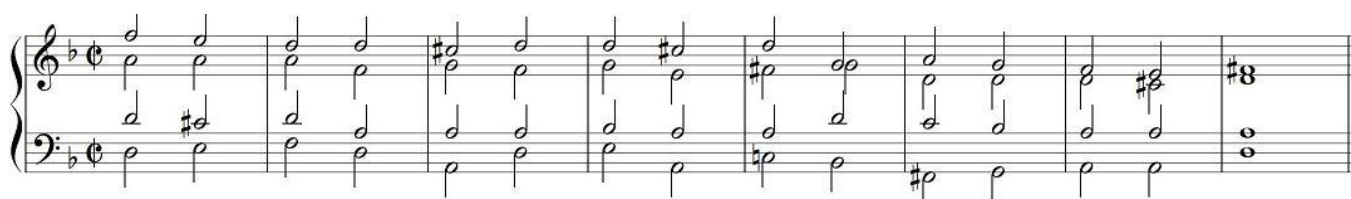
1. 旋律および和声の書き取り（全専攻共通）

課題は3題です。旋律課題は長調・短調各1題、和声課題（四声体）は長調または短調いずれか1題を出題します。

・旋律聴音課題 例



・和声聴音課題 例

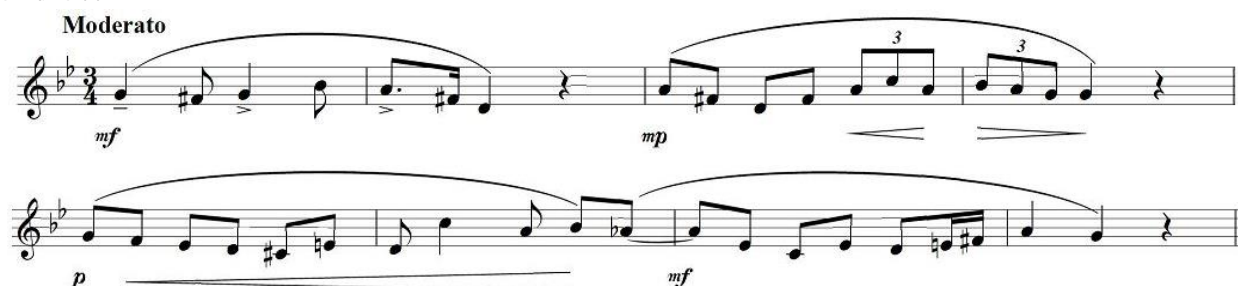


2. 旋律の視唱（全専攻共通）

視唱は、長調・短調いずれか1題を出題します。

唱法は、固定ド唱法・移動ド唱法のいずれかを用いてください。

・新曲視唱課題 例



### 3. 副科ピアノ演奏課題

[管楽器専攻、弦楽器専攻、打楽器専攻、声楽専攻]

次のA)またはB)より、どちらかを選択してください。

- A) ソナチネアルバム [全音楽譜出版社版または音楽之友社版] 第1巻より第1番から第17番までの任意の1曲  
ただし、複数の楽章からなる場合には、いずれかひとつの楽章(緩徐楽章を除く)とします。対象曲目は以下の通りとします。
- |                               |                              |
|-------------------------------|------------------------------|
| F. クーラウ: ソナチネ 作品20-1 八長調      | M. クレメンティ: ソナチネ 作品36-1 八長調   |
| 〃 ソナチネ 作品20-2 ト長調             | 〃 ソナチネ 作品36-2 ト長調            |
| 〃 ソナチネ 作品20-3 へ長調             | 〃 ソナチネ 作品36-3 八長調            |
| 〃 ソナチネ 作品55-1 八長調             | 〃 ソナチネ 作品36-4 へ長調            |
| 〃 ソナチネ 作品55-2 ト長調             | 〃 ソナチネ 作品36-5 ト長調            |
| 〃 ソナチネ 作品55-3 八長調             | 〃 ソナチネ 作品36-6 二長調            |
| J. ハイドン: ソナタ 八長調 Hob. XVI:35  | W. A. モーツァルト: ソナタ 八長調 K. 545 |
| L. v. ベートーヴェン: ソナタ 作品49-2 ト長調 | J. L. ドゥセック: ソナチネ 作品20-1 ト長調 |
| 〃 ソナタ 作品49-1 ト短調              |                              |

B) J. S. バッハ: 2声のインヴェンションより任意の1曲

[作曲専攻、楽理専攻]

J. S. バッハ: 3声のシンフォニアより任意の1曲

### 4. 専攻実技

[ピアノ専攻]

- ① 課題曲  
J. S. バッハ: 平均律クラヴィーア曲集 第1巻および第2巻より 任意のフーガ1曲  
(ただし、第1巻 第10番 ホ短調 は除きます。)
- ② 任意の1曲  
ただし、複数の楽章からなる楽曲の場合には、いずれかひとつの楽章(緩徐楽章を除く)とします。

[管楽器専攻] (フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ)  
※サクソフォーンを専攻する場合は、アルトサクソフォーンで受検するものとします。

- ① 課題曲A (各専攻共通)  
音階と分散和音による課題(初見視奏)シャープ、フラット4つまでの長調、短調からそれぞれ1題ずつ各楽器の音域を考慮して出題します。なお、短調の音階は、和声的短音階とします。(課題曲例は3ページを参照してください。)
- ② 課題曲B (フルート、ファゴット専攻のみ)  
フルート E. ケーラー: フルートのための35の練習曲 作品33 第1巻 [版については問いません]  
第11番 イ短調  
ファゴット ヴァイセンボルン: ファゴット教則本 作品8 第1巻 IIIより  
第4番 二短調
- ③ 任意の1曲

[弦楽器専攻] (ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)

- ① 課題曲 (各専攻別)  
(ヴァイオリン専攻)  
カール・フレッシュ音階教本より 二長調 第5, 6, 8番  
第5番 最初から12小節まで 八長調 のスラーに従ってください。  
第6番 最初から4小節まで 16分音符4つで1スラー  
第8番 最初から4小節まで 16分音符4つで1スラー  
(ヴィオラ専攻)※ヴァイオリンでの受検も可とします。その場合は、ヴァイオリンの課題で受検してください。  
カール・フレッシュ音階教本 viola [カール・フィッシャー版]より 八長調 第5番  
・演奏方法 全曲、スラーは自由とします。  
(チェロ専攻)  
任意の練習曲1曲  
(コントラバス専攻)  
課題曲はありません。
- ② 任意の1曲 (各専攻共通)

[打楽器専攻]

打楽器専攻の場合は、小太鼓またはマリンバで受検するものとします。

I. 小太鼓で受検する場合

- ① 課題  
小太鼓の基本奏法 一つ打ち、二つ打ち、五つ打ち (加速~減速)
- ② 課題曲  
M. Goldenberg: Modern School for Snare Drum [Chappell社版]より P. 24 Studies of flams No. 1
- ③ 任意の1曲

II. マリンバで受検する場合

- ① 2オクターヴの音階課題 (初見試奏)  
シャープ、フラット3つまでの長調、短調からそれぞれ1題ずつ出題します。なお、短調の音階は、和声的短音階および旋律的短音階とします。(3ページの例にならって演奏してください。)

② 課題曲

M. Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone [Chappell社版]より

39のエチュード 第1番

③ 任意の1曲

[声楽専攻]

課題曲

① コールユーブンゲン第1巻 [大阪開成館版]より No. 3 3-a、No. 4 3-e、No. 7 4-d (いずれも原書番号)  
以上の中より当日2曲指定します。

演奏方法：固定ド唱法または移動ド唱法のいずれか

② コンコーネ50番より 第13番

演奏方法：母音唱法

③ イタリア歌曲集 第1巻 [全音楽譜出版社版]より 任意の1曲 (原語)

※コンコーネ50番については、低声用、中声用、高声用のいずれかを用いてください。

※イタリア歌曲集については、中声用、高声用のいずれかとします。声域により他の調で演奏する場合には、[全音楽譜出版社版]に集録されている曲であれば、他の出版社版を使用してもかまいません。

※声楽専攻の任意の曲およびコンコーネについてはピアノ伴奏を付けます。伴奏者は本校で用意します。

[作曲専攻]

和声課題 (バス課題, ソプラノ課題 各1題) 検査時間は3時間です。課題例は4ページを参照してください。

[楽理専攻]

音楽に関する筆記による検査 (小論文及び英作文を含む) 検査時間は2時間です。課題例は4ページを参照してください。

※本校で用意した英和辞典の使用を認めます。

**注意**

1. 専攻実技の演奏については、当日楽譜が提示されるものを除き、課題曲、任意の曲ともに暗譜とします。副科ピアノ演奏課題についても同様とします。
2. コントラバス、小太鼓、マリンバ、ピアノは本校で用意します。その他の楽器は各自で持参してください。
3. 任意の曲は、必ず冒頭より演奏を始めてください。場合により、曲の一部省略を指示することがありますが、受検者が省略部分を決めることはできません。
4. 管楽器専攻と打楽器専攻 (マリンバで受検の場合) の音階と分散和音による課題 (初見視奏) は下記の通りです。
  - ① 以下の楽器については、カッコ内の調の移調楽器として課題楽譜を提示します。それ以外の楽器については、実音とします。  
アルトサクソフォン (in E flat)、ホルン (in F)、クラリネットおよびトランペット (in B flat)
  - ② 音域および音型  
各楽器の特性等を考慮して出題します。音型については、課題例を参照してください。  
なお、ファゴット、トロンボーン、チューバについては低音部記号 (ヘ音記号) を使用します。
  - ③ 速度、強弱、奏法 (スラー等) は当日指定します。

検査課題例

・木管楽器 音階

《長調》

♩ = ca. 120

♩ = ca. 120

《短調》

♩ = ca. 120

♩ = ca. 120

・金管楽器 音階

《長調》

♩ = ca. 72

♩ = ca. 72

♩ = ca. 72

《短調》

♩ = ca. 72

♩ = ca. 72

♩ = ca. 72

・マリンバ 音階

《長調》

♩ = ca. 132

《短調》

♩ = ca. 132

♩ = ca. 132

作曲専攻  
検査課題 例

・バス課題

Moderato

・ソプラノ課題

Andantino

楽理専攻 検査課題 例

I 次の文章を読んで、音楽を学問的に研究することにはどのような意義があるか、あなたの考えを具体的に論じなさい。  
(800字程度)

我が国では「音楽は、音楽（音を楽しむもの）であって、音学（音を学ぶもの）ではない」という言葉が聞こえてくるのがよく

ある。なるほど音楽は、現実には鳴り響くことによって初めてその姿を顕にする。そして鳴り響く世界が直接的には感覚に訴える以上、感覚的な快感や肉体的遊戯性が重要な要素としてそなわっていることは否定できない。しかし、音楽が技術や楽しみを超えた奥行きのある深い世界をもっていたり、長い伝統のうえに培われた様々な文化が蓄積したものであることもまた事実なのである。とりわけヨーロッパにおいて「音楽」は、単に感覚的な「楽しみ」としてだけ捉えられてきたわけではない。それは、むしろ一つの学問研究の対象となる知的な営為として長く考えられてきたのである。この辺りの認識を誤れば、西洋音楽を真の意味で理解することは困難になるだろう。

(高橋浩子ほか著『西洋音楽の歴史』より)

II 次に示す各作曲家について、下の<A>および<B>の中から関連の深い語句を1つずつ選び、その記号を記入しなさい。  
ただし、A群とB群の関連性は特にありません。

ビゼー	( ) ( )	J.S. バッハ	( ) ( )
プッチーニ	( ) ( )	ガーシュイン	( ) ( )
ハイドン	( ) ( )	シューマン	( ) ( )
ベルク	( ) ( )	ショパン	( ) ( )
リスト	( ) ( )	ストラヴィンスキー	( ) ( )

<A>	A 新古典主義	G ロシア	<B>	① 組曲「アルルの女」	⑦ オペラ「ヴォツェック」
	B ウィーン古典派	H イタリア		② 「春の祭典」	⑧ マタイ受難曲
	C 新ウィーン楽派	I ポーランド		③ オラトリオ「天地創造」	⑨ 「詩人の恋」
	D フーガ	J フランス		④ 「ラプソディ・イン・ブルー」	⑩ ハンガリー狂詩曲
	E 交響詩	K ドイツ・リート		⑤ 「幻想ポロネーズ」	⑪ オペラ「蝶々夫人」
	F ジャズ	L 十二音技法		⑥ 交響詩「わが祖国」	⑫ オペラ「フィガロの結婚」

III 古典派の音楽作品、あるいは作曲家の中で、あなたの最も関心のあるものについて、英語で論じなさい。

語数の制限はありませんが、解答用紙（A4判1枚）に収まるように書きなさい。（英和辞典の使用を認めます）